

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	内科学Ⅱ(循環器・血液)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	301
担 当 教 員	須佐 建央(循環器) 佐藤 秀一(血液)	実務経験と その関連資 格	須佐:須佐クリニックに医師として診療に従事 佐藤:出雲市立総合医療センターで医師として勤務			
《授業科目における学習内容》						
疾病の生じる因子、症状や時間の経過に伴う変化、そして治療としてどのように取り組むかを学ぶ。その中で理学療法士がどのように関わっていくかを考える基礎とする。						
《成績評価の方法と基準》						
出席、課題提出、小テスト、筆記試験で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 循環器 医学書院 系統看護学講座 血液 医学書院						
《授業外における学習方法》						
事前に指定テキストを読んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中に口頭試問等行う。						
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	心不全・高血圧の病態と治療について説明できる		テキスト AV機器	テキストを読んで予習・ 復習をする。授業内容 をまとめる。
		各コマに おける 授業予定	心不全・高血圧症についての病態と治療について			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	虚血性心疾患と心筋梗塞の病態と治療について説明できる		テキスト AV機器	テキストを読んで予習・ 復習をする。授業内容 をまとめる。
		各コマに おける 授業予定	虚血性心疾患・心筋梗塞の病態と治療について			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	徐脈性・頻拍性不整脈の病態と治療が説明できる		テキスト AV機器	テキストを読んで予習・ 復習をする。授業内容 をまとめる。
		各コマに おける 授業予定	徐脈性・頻拍性不整脈の病態と治療について			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	弁膜症などの病態と治療について説明ができる		テキスト AV機器	テキストを読んで予習・ 復習をする。授業内容 をまとめる。
		各コマに おける 授業予定	弁膜症・心膜炎・心筋疾患 先天性心疾患の病態と治療につ いて			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	赤血球系の異常が説明できる		テキスト、配布資	テキストを読んで予習・ 復習をする。授業内容 をまとめる。
		各コマに おける 授業予定	赤血球系の異常			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	白血球系の異常が説明できる	テキスト、配布資料	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	白血球系の異常		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器腫瘍について説明することができる	テキスト、配布資料	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	造血器腫瘍		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	出血性疾患について説明することができる	テキスト、配布資料	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	出血性疾患		
第9回					
第10回					
第11回					
第12回					
第13回					
第14回					
第15回					